



くわのみ

くわのっ子スクール「夏休み宿題応援！交通安全ポスター教室」

◇講師から◇

昨年より「夏休み宿題応援！交通安全教室」で主に上学年を担当しています。子どもたちは、日頃の図画工作の経験を生かし、制作のポイントを伝えると素早く活動に取り組んでいました。さすが、くわのっ子だなあと感じました。

中学校での美術指導の経験から、高学年の表現指導では中学校につながる表現指導をしていきたいと思うようになりました。そのため、ポスターという表現方法の知識、技能を描きながら身につけてもらえるよう、資料を提示しています。また、現代はタブレットを使ってのイラスト作成も身近になっていますので、色合いや修正を考える時にはタブレットを活用しています。今回は、作品の Before After を確認してから表現を選択できるように提示してみました。自ら表現を選択させ、その表現をほめることで子どもたちは自分らしさに自信をもつと考えています。

来年もたくさん子どもたちと出会い、これからは繋がる表現活動ができるよう指導していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

講師 中村 道子



◇講師から◇

夏休みに「交通安全ポスター」の指導に携わって7年目になります。教員として長年造形教育に力を入れてきたので、地域の子どもの役に立てる場を設けていただきありがたく思い、毎年この日を楽しみにしています。

参加しているお子さんはみんな意欲的で、よく話を聞き、集中してポスター制作に取り組んでいます。毎年1～3年生を担当していますが、限られた時間の中でどんな思いを伝えたいのか、どんな表現にするのか、学年ごとに言葉だけでなく視覚でもわかりやすいように掲示物やカード等で工夫しています。

子どもたちが自分の思いを効果的に表現できる方法を教えたり、失敗を改善する裏技を教えたり、少しでも「自分の思いを楽しく絵で表現する喜び」を味わって欲しいと願いながら一人一人に関わり、一緒に活動する時間がとても楽しいです。子どもたちが「楽しかった。うまくできた。」と言って満面の笑顔を見せる時が、私にとって一番の幸せです。

講師 中尾 貴美子



青少年健全育成桑野支部育成指導員がつくったカレーを食べました→

夏休み宿題応援！参加者のアンケートから

- 1 「公民館に来たのは今日が初めてですか」①「はじめて」2人、②「前にも来たことがある」20人
- 2 「ポスター教室は楽しかったですか」①とても楽しかった14人、②楽しかった7人、③ふつう1人
- 3 「講師の話はわかりましたか」①よくわかった19人②まあまあわかった3人
- 4 「ズバリ！！今日の満足度は？」89%が「満足」に○を
- 5 「感想・思ったことなど、自由記述」からの抜粋
 - ・ ポスターを描くのはむずかしいんだとわかった（2年）
 - ・ 先生のおかげでいろいろなことがわかった。（3年）
 - ・ いろんな工夫があつてすごいと思った。（3年）
 - ・ わからないことをアドバイスしてくれたのでうれしかった。（3年）
 - ・ 水玉模様をつけて先生にとってもほめられて、とても楽しかった。（4年）
 - ・ いろいろな色を使って描いて、とてもよく仕上がってうれしかった。（4年）
 - ・ カレーは美味しかったし、ポスターの描き方もよくわかった。（4年）
 - ・ 先生にアドバイスなどもらったので、納得する作品ができた。（6年）

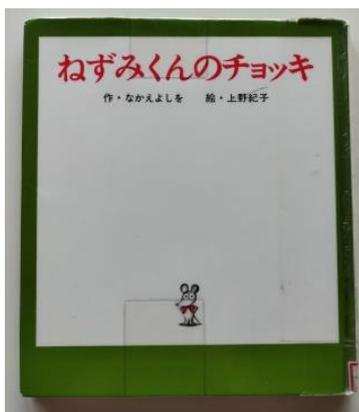


みつけたらよんでみよう おすすめの絵本

筆：たかみや みちこ



ねずみくんのチョコッキ さく： なかえ よしを え： 上野 紀子



ねずみくんのおかあさんが編んでくれた赤いチョコッキ。

ねずみくんがうれしそうに着ていると、次々に動物がやってきて、「ちょっときせてよ」と言われます。ねずみくんは「うん」と言って動物たちに着せてあげるのですが、とっても大きな動物もきて・・・!!

さて、ねずみくんのチョコッキは最後どうになってしまうのでしょうか!?

ねずみくんや、動物たちの豊かな表情から伝わる思いをいろいろな想像できるところが面白い絵本です。

何冊かシリーズ化もされていて、『またまた!ねずみくんのチョコッキ』という絵本もあります。ぜひ、みつけたらよんでみてください!

地域未来塾・のびのび桑野公民館サマースクール ～読み聞かせを行って～

共働き世帯、ひとり親世帯と家族の構成が大きく変わってきた中で、少しでも地域の子どものために役立てたらと、くわえて仲間づくりに自分自身への学習になれたらとの目的で、くわのみ読み聞かせの会に参加。県中教育事務所の読書支援者研修を受講して、読み聞かせの技術向上を図っているところです。会員それぞれが仕事を持つ身とコロナもあって定例会も開けず、どう活動するか具体的な機会もなかったのが足踏み状態でしたが、今回サマースクールで会として初めての披露の場をいただけて、今後どのように活動していくかを改めて話し合う機会になったのと、準備や打合せの大切さを痛感できました。



今回は、自分の住んでいる日本について少しでも興味を持ち、夏休みを利用して学習するキッカケとなってもらえたらと思い臨みましたが、逆に子どもたちに助けてもらいました。来年少しでも成長して子どもたちの前に立てるよう活動していこうというキッカケをいただきました。

くわのみ読み聞かせの会 増子 文子